

会 議 要 旨

(1 / 6)

会議の名称	令和6年度第1回川越市立美術館協議会
開催日時	令和6年5月24日（金） 午後2時30開会・午後4時閉会
開催場所	川越市立美術館アートホール
会長氏名	（会 長） 宮澤光造
出席委員氏名 （人数）	（副会長） 山田誠次 （委 員） 青柳達雄、吉岡知子、山崎共子、横山敦子、 岡部秀子、瀬下洋之 （8人）
欠席委員氏名 （人数）	西野 博 （1人）
事務局職員 職・氏名	館 長 山田明子 副館長 折井貴恵 副主幹 相田祐次
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 職員紹介 4 委嘱および諮問 5 正副会長の選任について 6 議事 (1) 令和5年度事業報告 (2) その他 7 閉会
配付資料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 令和5年度事業報告 ・ 特別展データ表 ・ 川越市立美術館データ表 ・ 議事 その他 ・ 総合計画 後期基本計画 第2 分野別計画資料 ・ 市民ギャラリー利用案内／創作室利用案内 ・ 刊行物（美術館ガイド、展示案内ほか）

議 事 の 経 過

議事

議題(1) 令和 5 年度事業報告について

■美術館展示

事務局 (資料：令和 5 年度「美術館展示」について説明)

杉浦非水展の観覧者数は予想より少なかった。アンケートの回答率は通常の 2 倍ほどであり、来館者の意識を感じる。市外の方、初めての方が多く、観覧者の拡張に貢献したと考えている。

広告費の使途を SNS に変更し、アクセス件数等の報告から有効性を確認し、特にインフルエンサーの発信する情報による効果（観覧者増加）を実感した。

中村一美展の観覧者数は、現代作家展としては予想以上であり、作家が話す講座は聴講者が多かった。アンケートによれば作家と同年代および教え子世代が多かったと考えられる。

委員 杉浦非水展の観覧者は 5,465 人であるが、当初の想定はどのくらいか。
事務局 観覧者目標は 8,000 人であった。難しいとは思ったが、注目されている作家であり、川越市との関わり、保存の経緯などから期待を含めた。観覧者が少なかった一因は時期的に暑さの影響かもしれない。

委員 観覧者数が少ない理由を猛暑とするのは、観光客は多いのだから、別の理由が考えられ、観光客を取り込むことが必要である。

委員 「きものの日」の観覧者について効果はどうか。
事務局 令和 5 年度の「きものの日」観覧者は年間 12 人、効果を確認できない。

委員 博物館の喫茶店も無くなり、観光客が美術館・博物館に来てもらうには周辺に飲食できる場所・休める場所が必要である。

委員 一番街で仕事をしていて、観光客がいるから美術館入館者が増えるわけではないことを実感する。観光客、着物で観光する人は川越を訪れる目的が違う。例えば年金支給日に合わせた事業など、時間や経済に余裕があり、美術館に来館するような世代に働きかけてみるのはどうか。

委員 開会式などにインフルエンサーと言われる人たちを招待し、情報発信してもらえばいいと思う。

事務局 インフルエンサーなどを招待している館があり、SNS の効果は広告を通して実感している。興味がある人に伝わる宣伝の仕方を考えたい。

委員 他館では 65 歳以上に有利な制度がある。また、博物館との共同事業、交通機関と連携などを行ってはどうか。

委員 対象者が、少しでも得したり差を感じたりするようなことが有効だろう。

委員 企画のネーミングも重要である。

議 事 の 経 過

■教育普及事業

事務局 (資料：令和5年度「教育普及」について説明)

委員 ジュニアアーツスクエアの9月が極端に少ないのはなぜか。

事務局 9月は小学校の運動会と重なったことが一因である。

委員 運動会と重ならないように開催日を変更してはどうか。

委員 小学校の運動会は春と秋の開催があり、おおむね半数ずつと記憶している。9月では暑いため10月開催を考える学校もある。学校行事は決まっているので教育委員会に尋ねれば対応できるだろう。

事務局 ジュニアアーツスクエアは、原則第4土曜日として周知し、それを予定している人もいることから現在の内容で行っている。参加者は、必ずしも美術館に近い学校というわけではなく、市外も含め多方面の学校から申し込みがある。

委員 バス見学は市内小学校32校とあるが私立小学校のバス見学はどうしているか。行っていないならスクールバスがあるだろうから実施できるのではないか。

事務局 バス見学は、教育委員会主催なので、市立小学校が対象である。私立小学校から直接、要望があれば対応は可能だろう。

委員 ジュニアアーツスクエアは、コロナ終了後に倍率が高まっている。同じ児童が受講することもあると思われるが受講の機会はどうなっているか。

事務局 現在、受講経験者を外すとか調整することではなく、(パソコンにより)純粹に抽せんを行っている。最近では定員20人に対して申し込み80人以上ということがあり、午前・午後に開催して対応したが、損害保険の制限があるため常にそうした対応ができるわけではない。

委員 損害保険の制限は、どのような内容か。

事務局 損害保険は、人数が1回20人、年間12回となっている。

事務局 講座回数を増やすには職員の負担が大きく現状では難しいが、求められている事業と認識しており、できるだけ多くの児童が参加できるように努めたい。

■その他

事務局 (資料：令和5年度「その他」について説明)

杉浦非水展図録は完売、中村一美展図録はほぼ売り切れた。

■美術館施設利用

事務局 (資料：令和5年度「施設利用」について説明)

事務局 市民ギャラリー利用案内、創作室利用案内を作成して配付に努め、利用拡大を図っている。

事務局 市民ギャラリーはフル稼働、創作室は夜間利用がほとんどない状態である。

議 事 の 経 過

委員 市民ギャラリーの申し込み、倍率はどのような状況か。

事務局 上半期・下半期で区分して申し込みを受け付け、ちょうど埋まるくらいの状況だが希望日が重なった場合は抽せんになり、結果として希望外の期間になった場合、都合が合わず見送りになることがある。申し込み時に空いた期間は、先着順に受け付ける。7月・8月に空きが生じる場合があり、利用希望者によれば、この時期の暑さが原因とのことである。

■美術館運営管理

事務局 (資料：令和5年度「美術館運営管理」について説明)

質疑なし。

議題(2) その他

1) 美術情報コーナーについて

事務局 (資料：「議事 その他」について説明)

事務局 美術情報コーナーについては、川越市立美術館建設委員会において設置の方針等が決められた。同委員会を引き継ぎ、美術館の運営について審議する川越市立美術館協議会に同コーナーについて今後の在り方をお尋ねする。

委員 川越市立美術館において Wi-Fi の使用は可能か。他館では、Wi-Fi 環境があり活用している。

事務局 現在、Wi-Fi 環境はない。最近では、翻訳アプリ、音読アプリを使用したいという希望があり、検討課題としている。

委員 埼玉県立近代美術館では、Wi-Fi 環境は備わっており、館内では電波を受信することも可能である。写真撮影を承認している展示の場合は、携帯端末を活用して調べものなどができる状況である。

事務局 Wi-Fi 環境の整備は、美術館としても実現したい課題と認識している。解説の多言語化は、スペース的にも技術的にも難しく、各自が携帯端末で行えることは現実的である。一方、展示室内における機器の操作について従来からの撮影禁止など館内における注意事項と整合させる必要がある。

委員 美術情報コーナーを作品を飾るスペースとして活用できないか。

委員 展示スペースとする場合、現在の図書スペースの移転が問題になるが、閲覧資料の活用はどのような状況か。

事務局 美術雑誌を閲覧する利用者は一定数いる。パソコンテーブルは現在、資料を読むスペースとして使われている。美術館には座れる場所が少ないため、情報コーナーは休める場所として活用することも兼ねている。

委員 休憩スペースにすると会話がうるさい。

委員 新たにパソコンを更新して活用するコーナーとしては考えないということになるか。

議 事 の 経 過

議長 情報コーナーについては、建設時に検討された資料閲覧、情報検索等が行える場所とする考え方を保持しつつも、パソコン端末の設置は、これまでの方針を変更することを認め、時代に合わせた情報コーナーとする。代わりとして個人が携帯端末を使用することについて、美術への関心を高め、情報を得られるよう美術館内の環境整備を検討する、ということによいか。

委員 承認。

2) 美術館の指標について

事務局 現行総合計画では、美術館の指標を常設展・特別展観覧者数、目標値を 70,000 人としている。次期総合計画では同指標を総利用者数として目標値の設定を考えている。指標・目標について、ご意見を頂きたい。

委員 展示だけではなく、教育普及などを含めた、総利用者数でいいのではないか。いろいろな形で美術館を利用されている方がいるので、それを指標にして美術館の現実的な目標を決めていくことが大切であると思う。

委員 開館当初の特別展は年度 4 回であったが年度 2 回になっているが、今後はどうなるのか。

委員 協議会としては、特別展を年度 4 回に戻すべきだと思う。

事務局 特別展は令和 7 年度まで年度 2 本と決まっている。特別展が年度 2 本になり来館者が減り、関連事業も減り、マイナスのスパイラルになっていることからリニューアルなどのタイミングで年度実施回数を増やせるようにしたいと考えている。

委員 企画展示室の空いている期間を一般利用に供することで収入、活動に反映させるというのはどうか。いろいろな制約はあるだろうけれど施設を活用していないことが問題であり、民間の力を生かすことも考えてほしい。

事務局 運営面から一般利用という手段は分かるが、文化庁の求めるレベルに対応している設備が一般貸し出しすることで傷むなどした場合、他館等から作品を借りられなくなるような事態を懸念する。

委員 市民からすれば都内に出かけなくても全国レベルの展示が見られることを期待する。

委員 特別展の減少を常設展の工夫で対応しているが、やはり特別展を目当てに美術館を訪れる人は多いため、川越を訪れる動機になることから本数を増やすことは重要である。また、本数が増えるだけでは職員の負担も増えるから、それに見合った人員が必要だろう。

議長 川越市の予算、コロナがあったことなど大変だと思うが、協議会として特別展に関しては年度 4 回にしていたいただきたい。

議 事 の 経 過

委員 年度４回の実施は職員にとって大変だと思われる。すべてが研究成果の発表ではなくパッケージのようなものでもいい。美術館としての収入は大切であり収入を増やすためにも特別展は年度４回に戻していただきたい。

委員 いずれにしても目標とする数値を考える際には、特別展の回数に関わるため、考えてほしい。

議長 展示以外にも、いろいろな形で美術館事業に参加される方がいる。美術館の充実という取り組みに対するものであることから、指標は総利用者数として美術館の現実的な目標を決める。

委員 承認。

議長 指標、目標値には、特別展の回数・日数および特別関連事業も考慮し、総利用者数に影響することであり、施設の有効活用という観点からも特別展の実施回数を年度４回にするよう提案したい。

委員 承認。

３）その他

事務局 令和６年３月８日付で博物館登録原簿に登録（埼玉第２５号）され、令和６年５月１８日から受付にプレートを掲出した。

川越市立美術館 令和5年度事業報告

*資料中の敬称は省略させていただきます。

■美術館展示

◆特別展 *2 本実施

杉浦非水の大切なもの ―初公開・知られざる戦争疎開資料―

日本におけるグラフィックデザインの草創期に第一線で活躍した図案家・杉浦非水(1876-1965)が、妻で歌人の杉浦翠子(1885-1960)の実家である川越の商家・岩崎家に疎開させていた 1000 点以上のグラフィック作品群のうち、非水図案の印刷物、図案集、若干の書簡類や写真類、そして新発見の「非水百花譜」原画など、厳選した約 300 点を初公開し、その全容に迫った。

会 期：令和5年7月8日(土)～9月3日(日)（開館日数 50 日）

主 催：川越市立美術館

助 成：芸術文化振興基金

後 援：朝日新聞さいたま総局、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHKさいたま放送局、J：COM 東上・川越、テレ玉、FM NACK5

観覧料：一般 600 円（480 円）、大学生・高校生 300 円（240 円）、中学生以下無料

*（ ）内は 20 人以上の団体料金

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方及びその介護者 1 名は無料

*「川越きものの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物、浴衣で来館された方は団体料金で観覧

観覧者数：5,465 人（約 107 人／日）

関連事業：●開会式／内覧会（関係者のみ）

日時：7月7日(金) 午後2時～4時

会場：アートホール（開会式）／企画展示室（内覧会）

人数：37 人

●講演会「杉浦非水 モダンデザインの先駆者」

講師：長井健（愛媛県美術館専門学芸員）

日時：7月30日(日) 午後2時～3時30分

会場：アートホール

人数：64 人（定員 60 人）

●オープニングイベント「非水図案を探して缶バッジを作ろう」

日時：7月8日(土) 午後1時～4時

会場：エントランス／企画展示室

人数：25 人

費用：100 円（材料費）

●ワークショップ「非水図案のパタパタ焼きを作ろう」

	日 時	人数
①	7月16日(日) 午前10時～正午／午後2時～4時	13人
②	7月17日(月)・(祝) 午前10時～正午／午後2時～4時	17人
③	8月5日(土) 午前10時～正午／午後2時～4時	16人
④	8月12日(土) 午前9時30分～午後4時 ※臨時開催	34人
⑤	8月13日(日) 午前9時30分～午後4時	20人
⑥	8月19日(土) 午前9時30分～午後4時	21人
⑦	9月2日(土) 午前9時30分～午後4時 ※臨時開催	26人

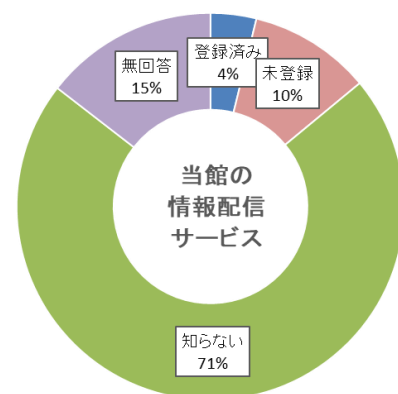
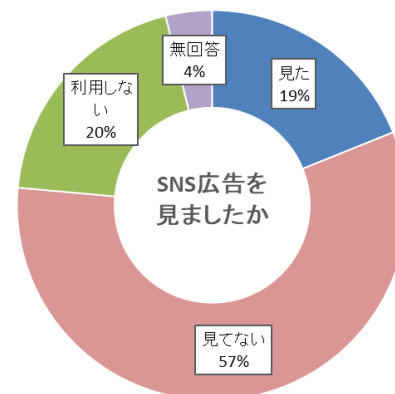
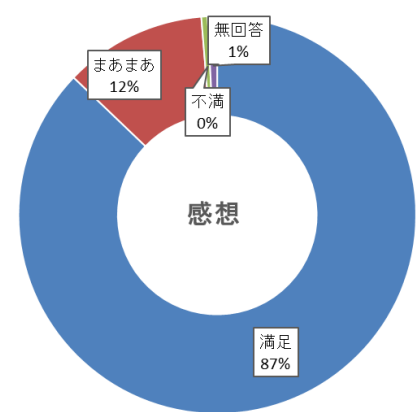
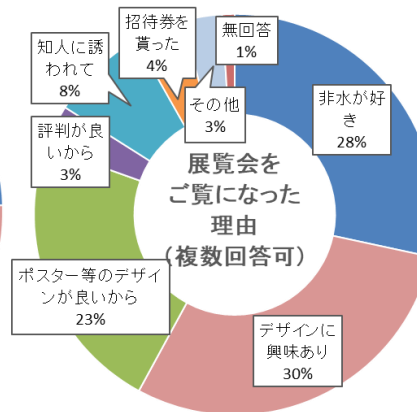
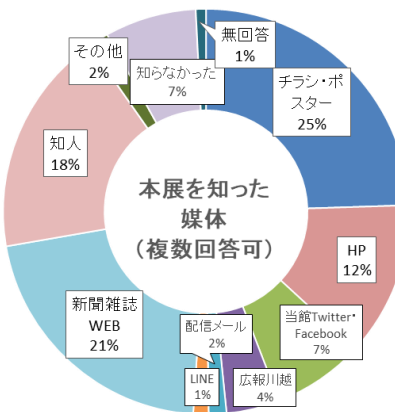
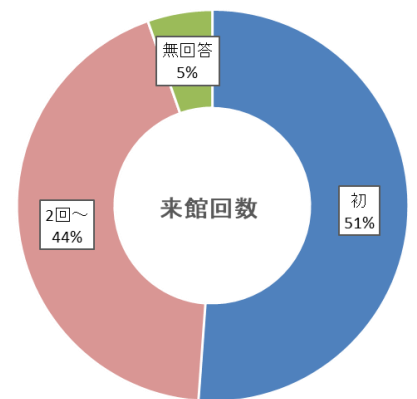
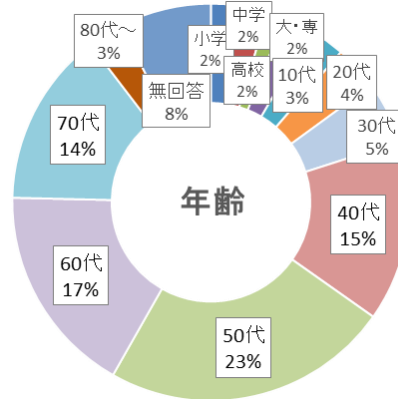
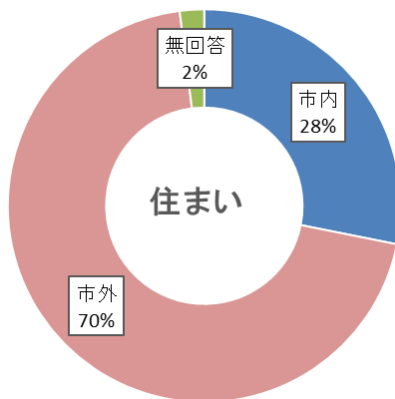
会場：アートホール

費用：700円（材料費）

アンケート

◎回収数：396（回答率7.2%）

紙回答 359（90.6%）／電子回答 37（9.3%）



〈川越の美術家たち〉中村一美展

世界を舞台に活躍している画家であり、川越にゆかりのある中村一美（1956 - ）の近作、新作を、アクリル絵画 30 点、素描、模型 10 点の計 40 点で展覧した。取り組み中の〈存在の鳥〉、〈破庵〉、〈聖〉の 3 シリーズに絞って構成した。

会 期：令和 5 年 10 月 21 日(土)～12 月 10 日(日)（開館日数 44 日）

主 催：川越市

助 成：自治総合センター

後 援：朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、J:COM 東上・川越、テレ玉、FM NACK5

観覧料：一般 600 円（480 円）、大学生・高校生 300 円（240 円）、中学生以下無料

*（ ）内は 20 人以上の団体料金

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方及びその介護者 1 名は無料

*「川越きものの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物で来館された方は 2 割引

*11 月 14 日(火)〔県民の日〕、12 月 1 日(金)〔市民の日〕、12 月 3 日(日)〔12 月第一日曜日〕は無料観覧日
観覧者数：4,086 人（約 92 人／日）

関連事業：●開会式および内覧会（関係者のみ）

日時：10 月 21 日(土) 午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分

会場：アートホール（開会式）、企画展示室（内覧会）

人数：45 人

●アーティストトーク

話し手：中村一美（画家・出品作家）

日時：①11 月 3 日(金)・(祝) 午後 2 時～3 時 30 分 *手話通訳付き

②12 月 2 日(土) 午後 2 時～3 時 30 分

会場：アートホール

人数：①66 人 ②52 人

●トークイベント「中村一美の絵画を巡って」

パネリスト：中村一美（画家・出品作家）

松浦寿夫（画家・美術評論家）

山村仁志（東京都美術館学芸担当課長）

日時：11 月 12 日(日) 午後 2 時～4 時

会場：アートホール

人数：84 人

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時：11 月 23 日(木)・(祝) 午後 2 時～

会場：企画展示室

人数：11 人

●教員・職員鑑賞会

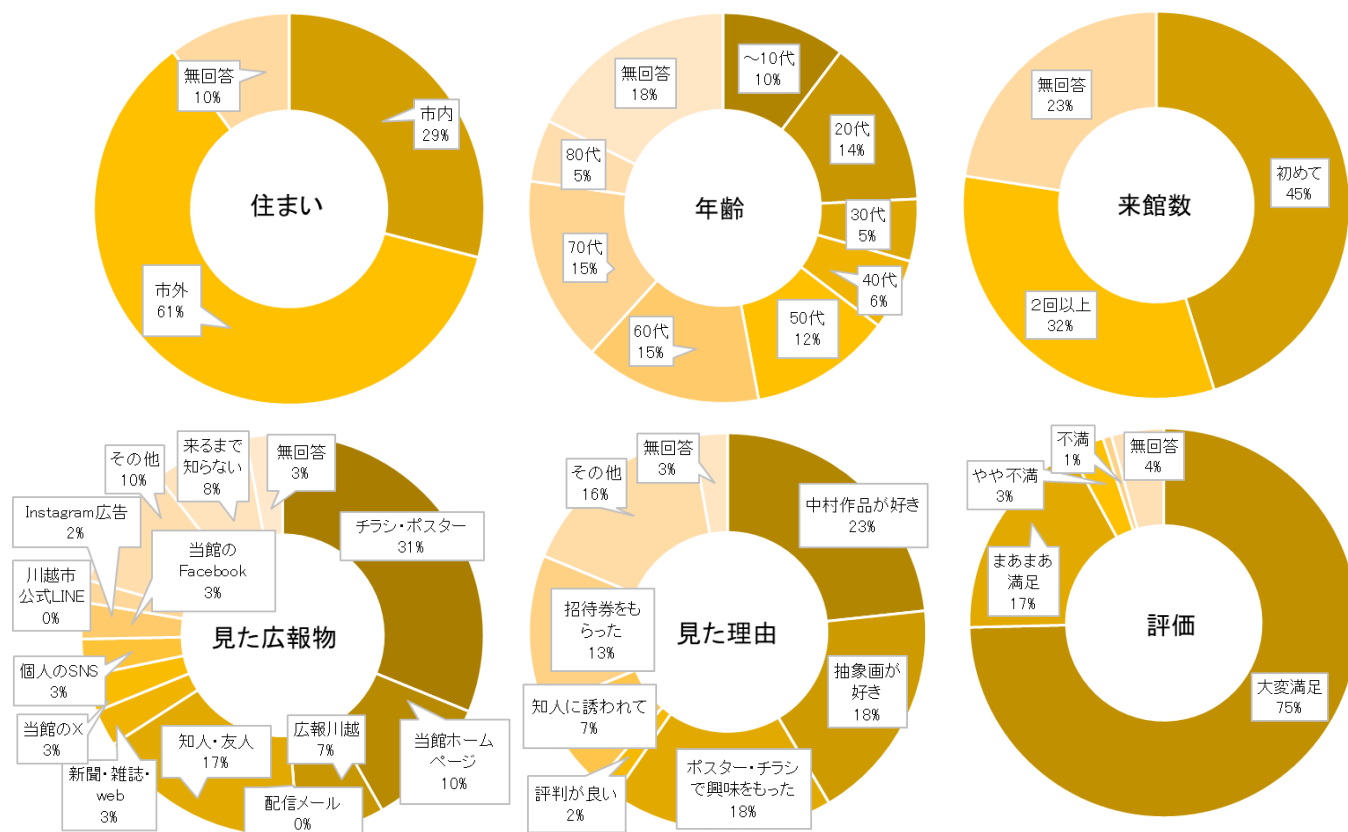
日時：10月27日(金) 午後6時30分～

会場：企画展示室

人数：12人

アンケート

◎回収数：138（回答率3%） 紙回答133（96.3%）／電子回答5（3.7%）



[7 ページから]

■その他

◆刊行物

- 杉浦非水の大切なものー初公開・知られざる戦争疎開資料ー（美術館展示）
- 〈川越の美術家たち〉中村一美展（美術館展示）
- 川越市立美術館令和4年度年報・研究紀要（美術館展示）
- 令和6年度展示案内（美術館展示）
- 2024 川越市立美術館 ハロー！ ミュージアム（教育普及）

◆常設展（常設展示室＋相原求一朗記念室）

第1期 川越ゆかりの作家たち＋相原求一朗の画業Ⅰ

令和5年3月29日(水)～6月18日(日)

川越に関わりのある作家、6人の作品を展示した。物故作家から現存作家までの日本画、版画、洋画を中心に紹介した。

第2期 特集：岩崎勝平＋相原求一朗の画業Ⅱ

令和5年6月27日(火)～9月18日(月)・(祝)

特別展「杉浦非水の大切なもの」に関連し、非水の甥にあたる川越の洋画家・岩崎勝平（1905-64）を特集した。

第3期 抽象一ワカラナイを楽しむ＋相原求一朗の画業Ⅲ

令和5年9月21日(木)～12月17日(日)

秋季特別展「中村一美展」にちなみ、館蔵の抽象作品を展示した。抽象美術の鑑賞ハードルを下げるコンセプトのもと、ひと目見て理解できないことは当然であること、自分本位で見て欲しい、といったメッセージを冒頭に掲げた。

第4期 日本画の革新－橋本雅邦から滝沢具幸まで－＋相原求一朗の画業Ⅳ

令和5年12月21日(水)～令和6年3月24日(日)

川越ゆかりの日本画家である橋本雅邦および小茂田青樹を中心に、明治時代から現代までの日本画の歴史を辿る構成とした。

◆タッチアートコーナー

第1期 所蔵品からはじめよう

令和5年3月29日(水)～6月18日(日)

第2期 阿部靖道展

令和5年6月27日(火)～9月18日(月)・(祝)

●ワークショップ「石彫体験－割って、叩いて、磨いて－」

内容：大きな石に杭を打って割り、鑿でたたいて削る体験のあと、クリップ付きカードスタンドの土台の石を磨く。

講師：阿部靖道（出品作家）

日時：8月20日(日) 午前10時～午後0時30分

会場：創作室

人数：小学生・13人（定員：小学5年生以上・16人）

参加費：500円（材料費）

第3期 金親敦展

令和5年9月21日(木)～12月17日(日)

●ミュージアム×スクール（高階西小学校）

第4期 高田純嗣展

令和5年12月21日(木)～令和6年3月24日(日)

●ミュージアム×スクール（特別支援学校塙保己一学園）

■教育普及事業

◆学校連携事業

3校美術部展	5月3日(水)～7日(日)・市民ギャラリー	682人
川越市立中学校美術部展	8月23日(水)～27日(日)・市民ギャラリー 市立中学校22校・出品数479点	1,344人
ミュージアム×スクール	10月11日(水)・高階西小学校特別支援学級1～4、6年生 派遣作家：金親敦（美術家）	17人
	2月8日(木)・埼玉県立特別支援学校 塙保己一学園 中学部／高等部普通科 派遣作家：高田純嗣（彫刻家）	35人
学芸員実習	日程（6日間）：7月25日(火)、27日(木)、28日(金)、8月2日(水)、3日(木)、7日(月)	2人
川越市立小・中学校児童生徒 県特選受賞作品展	2月22日(木)～25日(日)・アートホール 小学校32校・中学校22校・出品数178点	772人

◆小学生を対象にした事業

●ジュニアアートスクエア（小学生を対象にした美術講座）

子どもたちを対象に職員・タッチアートコーナー出品作家が講師となり、毎月第4土曜日に開催（定員20人・抽選）。中学生以上参加可の場合は「アートスクエア」としている。

月	日	タイトル	内容・備考	費用	人数
4	22	桜のある風景	ラシャ紙をちぎり、桜のある風景を作る。	100円	11
5	27	秋津の風、薫る。	長澤英俊《秋津の風》を鑑賞、参考にして木製のオブジェを作る。	300円	13
6	17	大きな絵を描いてみる	床に大きな紙を広げて、ポスターカラーで絵を描く。	200円	17
7	22	スペシャルブックをつくろう	紙と画材で自分だけの本（装丁）を作る。	100円	19
8	26	非水デザインにちょうせん！プラバンストラップづくり	杉浦非水の図案を参考に、プラバンストラップをデザインする。	200円	17
9	30	ストローをつなげて遊ぼう	ストローを切ってつなげて自由な立体造形を作る。	100円	6
10	28	新聞紙オバケにへんし～ん！	新聞紙とテープでオバケの衣装を作る。	100円	13
11	25	ふしぎなポーリングアート	「中村一美展」の鑑賞後、ポーリングアートを制作する。	100円	15
12	23	スチレンハンコでカードづくり	スチレンボードでハンコを作り、グリーティングカードに押す。	100円	20
1	27	ミニ屏風を作ろう	展示中の日本画作品を参考にして、六曲一双のミニ屏風を作る。	100円	14
2	24	作って飾る標本箱	木のかけらなどでいろいろなものを作って、ダンボールの標本箱に飾る。講師：田口輝彦氏（造形作家）	200円	17
3	23	描いて貼ってカレンダーづくり	絵を描いたり紙を貼ったりして、4月始まりのカレンダーを作る。	100円	19
合 計					181

●夏休み子ども体験（小学生を対象にした博物館共催事業）

ミニ灯籠を作ろう	8月3日(木)・小中学生・夏休み子ども体験	12人
----------	-----------------------	-----

●教育課程に位置づけたバス利用による博物館・美術館活用（教育委員会主催事業）

市立小学校6年生バス見学	6月～11月・市内小学校32校の6年生	3,027人
--------------	---------------------	--------

◆一般を対象にした事業

●常設展展示解説

集まって、え・み～る 常設展展示解説、各期2回	第1期	5月7日(日)	7人	6月10日(土)	12人
	第2期	7月9日(日)	24人	8月26日(土)	11人
	第3期	10月22日(日)	14人	12月9日(土)	4人
	第4期	2月3日(土)	6人	3月3日(日)	5人

●講座事業

初心者のための実技講座 「水墨画を描くー五彩の世界」 講師：陳芄宇（日本画家・多摩美術大学講師）	日時：1月20日（土） 対象：中学生以上 費用：2500円（材料費） 人数：10人
講演会「杉浦非水 モダンデザインの先駆者」 オープニングイベント「非水図案を探して缶バッジを作ろう」 ワークショップ「非水図案ペタペタ焼きを作ろう」	*展示（杉浦非水の大切なもの）参照。
アーティストトーク（中村一美） トークイベント（中村一美の絵画を巡って） 担当学芸員によるギャラリートーク 教員・職員鑑賞会	
石彫体験ー割って、叩いて、磨いてー	*タッチアートコーナー参照。
金沢健一 延長線上のマリオネット2 ワークショップ 3月9日(土) 講師：金沢健一 「音のかけらを作る」参加費4000円（人数：7人） 3月17日(日) 講師：金沢健一 「マリオネットと遊ぶ」（人数：6人） スライドレクチャー 3月16日(土) 講師：金沢健一 （人数：12人） パフォーマンス1 3月20日(水)祝 出演：金沢健一・徳永将豪（アルトサックス）（人数：60人） パフォーマンス2 3月23日(土) 出演：金沢健一・徳永将豪（同上）・サポートスタッフ（人数：32人）	

◆展示事業

金沢健一 延長線上のマリオネット2	3月5日(火)～24日(日)	1,059人
-------------------	----------------	--------

◆協力事業

川越シニア大学『小江戸塾』	7月19日(水)・ふるさと塾2023年度第2回講座	21人
市立小学校・中学校初任者研修会	8月18日(金)	83人
第一中学校親師会家庭教育学級	11月17日(金)・特別展解説	20人
尚美学園大学学芸員課程	12月10日(日)・「博物館情報メディア論」	12人
中学生社会体験事業	南古谷・城南・大東・東、各中学校2日	9人

◆Kart サポートスタッフ

ジュニアアートスクエア等補助、資料発送補助、講座・講演会等受付、中学校美術部展看視、金沢健一展受付・看視、創作室資材等整理などが主な支援事業。

登録者数：37人／活動回数：111単位／参加延べ人数：266人

◆その他の普及事業

- ・川越市公式HP／川越市立美術館公式X（旧twitter）／Facebookの発信
- ・メール配信サービス／川越市公式LINE

■その他

◆作品取得（美術館展示）

購入1件（1点） 寄贈26件（109点） 寄託3件（1,188点）

◆美術品外資料の受け入れ（美術館展示）

3件（21点）

◆刊行物〔4ページに記載〕

■美術館施設利用

◆市民ギャラリー

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
利用可能日数	300 日	300 日	298 日	163 日	274 日
利用日数	279 日	275 日	198 日	138 日	252 日
利用率	93.00%	91.67%	66.44%	60.26%	91.97%
利用者数	24,536 人	23,933 人	18,219 人	9,071 人	31,459 人

◆創作室

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
利用可能コマ数	880 コマ	900 コマ	785 コマ	687 コマ	822 コマ
利用コマ数	269 コマ	276 コマ	247 コマ	171 コマ	360 コマ
利用率	30.57%	30.67%	31.46%	24.89%	43.80%
利用者数	1,591 人	1,602 人	1,463 人	995 人	3,610 人

＊参考 令和 4 年度末に人数制限を撤廃し、感染症流行前の状態に回復しつつある。
創作室の利用者数は、令和 2 年度に申請数から報告数に変更した。

■美術館運営管理

◆審議会等

川越市立美術館協議会（美術館の運営について審議）

→ 2 回開催（5 月 26 日(金)、2 月 20 日(火)）

川越市立美術館美術品等選考評価委員会（作品の収蔵の可否について審議）

→ 1 回開催（11 月 30 日(木)）

川越市立美術館利用研究委員会（美術館と学校利用について審議）

→ 3 回開催（6 月 29 日(木)、11 月 24 日(金)、2 月 22 日(木)）

◆美術館／博物館・本丸御殿／川越まつり会館

美術館敷地内駐車場 8 区画中 8 区画および 3 館専用駐車場 28 区画中 2 区画を 11 月 1 日から「思いやり駐車場」とし、駐車車両には利用証の掲示を要請し、利用案内をフロントガラスに挟んでいる。

博物館改修工事（令和 5 年 12 月 4 日～令和 6 年 3 月 15 日）、川越まつり会館改修工事（令和 6 年 1 月 15 日～2 月 29 日）の期間中に共通券の発行を中止した。

◆主な維持管理等（短期的な維持管理を除く）

工事 創作棟冷暖房設備

修繕 非常放送設備／消防設備／常設展示室排煙ダンパー作動器

高圧真空遮断器（VCB）

美術館 ITV 設備テレビモニター／電話交換機

市民ギャラリーロールスクリーン

冷温水発生機／太陽光発電設備

水洗トイレ、洗面、便座